

地方都市行政調査 報告書

| | | | |
|-------|--|------|--------|
| 委員会 | 建設委員会 | | |
| 調査年月日 | 令和6年10月30日(水) | 調査場所 | 兵庫県西宮市 |
| 委員 | 委員長 佐々木まさひこ 副委員長 太田 せいいち 副委員長 山 中 ちえ子 委員 ただ 太郎 委員長 沢 興 祐 委員 へんみ 圭 二 委員 高 橋 まゆみ | | |

| | |
|-----------------|---|
| 調査項目 | 本庁舎周辺におけるウォークラブルなまちなかづくりについて |
| 調査の目的 | <p>西宮市では、本庁舎周辺の公共施設が次々と更新の時期を迎える中で、本庁舎周辺エリアの空間整備方針として 2050 年を目標としたビジョン策定の取り組みをスタートした。まちに開かれた公共建築物の整備とともに道路や公園・広場等のオープンスペースを人が中心の空間に転換し、「居心地が良い」まちなかの形成を目指している。これらの取り組みについて、調査・研究を行う。</p> |
| 調査内容 | <p>国がウォークラブルについて推進し始める同時期に、市において公共施設マネジメントを進める動きがあった。そのため、公共施設の再整備に併せて、本庁舎の周辺のまちづくりも行うという方針を立てた。加えて、国土交通省が募集したウォークラブル推進都市に賛同し参加、現在も 2050 年のビジョン「多世代が集う市民の社」の実現に向け取り組みを続けている。また、公共空間のリノベーションや新たな魅力の創出と価値の創造に向け、5つの基本方針を定めている。</p> |
| 主な質疑 | <p>(問) ウォークラブル推進都市について伺う。</p> <p>(答) 市の姿勢としてウォークラブルの取り組みを進めているということを示すことができるツールとして認識している。</p> <p>(問) 公共施設における課題は何か。</p> <p>(答) 行政需要に合わせて分庁舎を建設してきたため庁舎が点在していることや、近い将来、昭和 40 年代に整備された施設が次々と更新時期を迎えることが挙げられる。</p> <p>(問) 自治体が先陣をきってまちづくりを進めている姿勢を高く評価するが、考えを伺う。</p> <p>(答) なんでも示せばよいという訳ではないが、自治体が率先をして計画等をたてることで協力をしてくれる事業者や、賛同を得られることが多いと考えている。</p> |
| 委員長所見・区政に活かせる点等 | <p>西宮市は、自治体として先陣をきって都市計画等で方針を示し、関係各所から協力や賛同を得ている。率先して方針を示していくことは、当区においてウォークラブルなまちづくりに取り組むためにも参考となるものである。</p> |

地方都市行政調査 報告書

| | | | |
|-------|--|------|--------|
| 委員会 | 建設委員会 | | |
| 調査年月日 | 令和6年10月31日(木) | 調査場所 | 岐阜県岐阜市 |
| 委員 | 委員長 佐々木まさひこ 副委員長 太田 せいいち 副委員長 山 中 ちえ子 委員 ただ 太郎 委員長 沢 興 祐 委員 へんみ 圭 二 委員 高 橋 まゆみ | | |

| | |
|-----------------|--|
| 調査項目 | 地域公共交通について |
| 調査の目的 | 岐阜市では、交通空白地域の改善と共にその地域の高齢者の日常生活における移動の確保を目的に地域住民が主体的に運営に参加をしているコミュニティバス事業や、人口減少や高齢化が進行する中、持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指し、運転手不足や安全対策などの課題に対する一つの解決策として、自動運転バスの運行を開始している。これらの取り組みについて、調査・研究を行う。 |
| 調査内容 | <p>[コミュニティバスについて]</p> <p>地域住民を主体に構成された運営協議会が地区ごとに設置、運営され、ルートやバス停の位置を検討している。これに市の職員、運行事業者が入り、地域からの要望などを協議する場を設けている。これにより、地域自らが考えて自分事のように考えるものとなっており、その利用促進に取り組み、収支のための利用を図る仕組みになっている。</p> <p>[自動運転バスについて]</p> <p>持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指し、公共交通への自動運転技術の導入に向けて、段階的に取り組みを進めている。2023年から5年間、岐阜駅から市役所までの中心部ルートと岐阜駅から川原町や岐阜公園などの観光地を周遊する岐阜公園ルートを運行する。</p> |
| 主な質疑 | <p>(問) 地域住民が主体のコミュニティバス事業の中で住民からの様々な知恵や意見があったと思うが、具体的な内容を伺う。</p> <p>(答) 地域住民主体のワークショップやアンケートの実施、広告収入の営業などが挙げられる。</p> <p>(問) 運転士不足にはどう対応しているのか。</p> <p>(答) 減便をしているバスもでてきているため、女性ドライバー含め、短大等に説明を行っている。</p> <p>(問) 協議会の構成員、参加しているのはどのような人なのか。</p> <p>(答) 町会・自治会の連合会長がメインで運営している。</p> |
| 委員長所見・区政に活かせる点等 | 人口減少や高齢化が進行する中、持続可能な公共交通ネットワークの構築は足立区でも重要なテーマである。岐阜市における住民が主体となって行うコミュニティバスの運営は大いに参考になるものである。 |

地方都市行政調査 報告書

| | | | |
|-------|---|------|--------------------|
| 委員会 | 建設委員会 | | |
| 調査年月日 | 令和6年11月1日(金) | 調査場所 | 愛知県名古屋市(現地視察:鶴舞公園) |
| 委員 | 委員長 佐々木まさひこ 副委員長 太田 せいいち 副委員長 山 中 ちえ子 委員 長 沢 興 祐 委員 へんみ 圭 二 委員 高 橋 まゆみ | | |

| | |
|-----------------|--|
| 調査項目 | Park-PFI を含む鶴舞公園整備事業について |
| 調査の目的 | 公園利活用の研究のため、名古屋市の鶴舞公園整備事業を調査する。 |
| 調査内容 | <p>※以下の内容について施設(鶴舞公園)の見学を行った。</p> <p>[施設の概要]</p> <p>鶴舞公園は、名古屋市が明治42年に設置した第1号公園で、緑豊かな憩いの場、スポーツ・レクリエーションの場として市民に親しまれている。</p> <p>開園当初からの和洋折衷式の造園様式や噴水塔、奏楽堂等の歴史的建造物もあり、平成21年に国の登録記念物(名勝地)に登録された歴史ある公園である。</p> <p>[Park-PFI を活用した整備事業]</p> <p>鶴舞公園は歴史ある公園である一方、施設の老朽化やバリアフリー化、飲食店が市民ニーズに対応していない等の課題があり、課題の解消に向けて民間活力を活用した公園の一部エリア再整備と、公園全体の管理運営に取り組んでいる。</p> <p>正面南、秋の池、熊沢山の3つのエリアの整備と、公園全体での魅力向上の取り組みで、公園利用者へ訪れるきっかけとなる「誘因」を創出し、目的をちりばめ「回遊」を誘い、集い、寛げるスペースで「滞留」を促し、常に人がいる「楽しく」、「安全」で、「明るい」公園づくりを目指している。</p> <p>再生方針</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 鶴舞公園固有の歴史・文化的資産及びみどりの保全と活用 (2) 民間活力を活かした多様で質の高いサービスの提供 (3) 誰もが楽しめ、憩えるバリアフリー化の推進 (4) 市民、民間事業者、行政の連携による利活用の推進 <p>[再整備のポイント]</p> <p>「歴史・文化的資産の保全活用」、「公園の景観や自然との調和」、「施設のバリアフリー化」、「賑わいのある空間の創出」が挙げられる。</p> |
| 委員長所見・区政に活かせる点等 | 鶴舞公園の Park-PFI を活用した公園整備事業は、歴史あるものを残しつつ民間の活力を導入し、住民に憩いの場を提供している。公園面積が多い足立区にも大変参考になるものである。 |